

防災教育チャレンジプラン報告会 2025.2.8

わくわく防災プロジェクトKANI

わくわく防災ジュニアクラブ岐阜可児

「防災 部活動 地域化モデル」へ



岐阜県可児市 ♪



可児市HPより

可児市 7.15豪雨災害(2010年)



流れ

「防災 部活動 地域化モデル」へのチャレンジ。



1 概要

2 チャレンジ内容

1 設立・発足

2 活動

3 連携・発信

3 成果と今後

1 概要

活動

月1回、クラブ活動。
地域で住民と防災を学ぶ。



連携・発信

行政・諸団体とつながる。
多方面へ、多様な発信。



「部活動地域化」で
防災人材育成を企画。

設立・発足



わくわく防災 プロジェクトKANI

わくわく防災ジュニア
クラブ岐阜可児



全国市町村モデルプランに！
防災×「部活動地域化」
→防災人材育成&つながり

成果

2 チャレンジ内容 1 設立・発足



- ①相談 行政（市文化スポーツ課、防災安全課）と
※防災教育チャレンジプラン計画書提出 (R5.10)→採択
- ②設立 願いを共有 若手防災人材の育成をクラブで
- ③認可 文化スポーツ課より
文化スポーツ課（会員募集、場所）・防災安全課（活動内容）に相談
- ④調整 会員募集時期変更（4月→7月）・活動日程計画
- ⑤募集 会員募集チラシ配布
- ⑥発足 第1回わくわくプロジェクトKANI

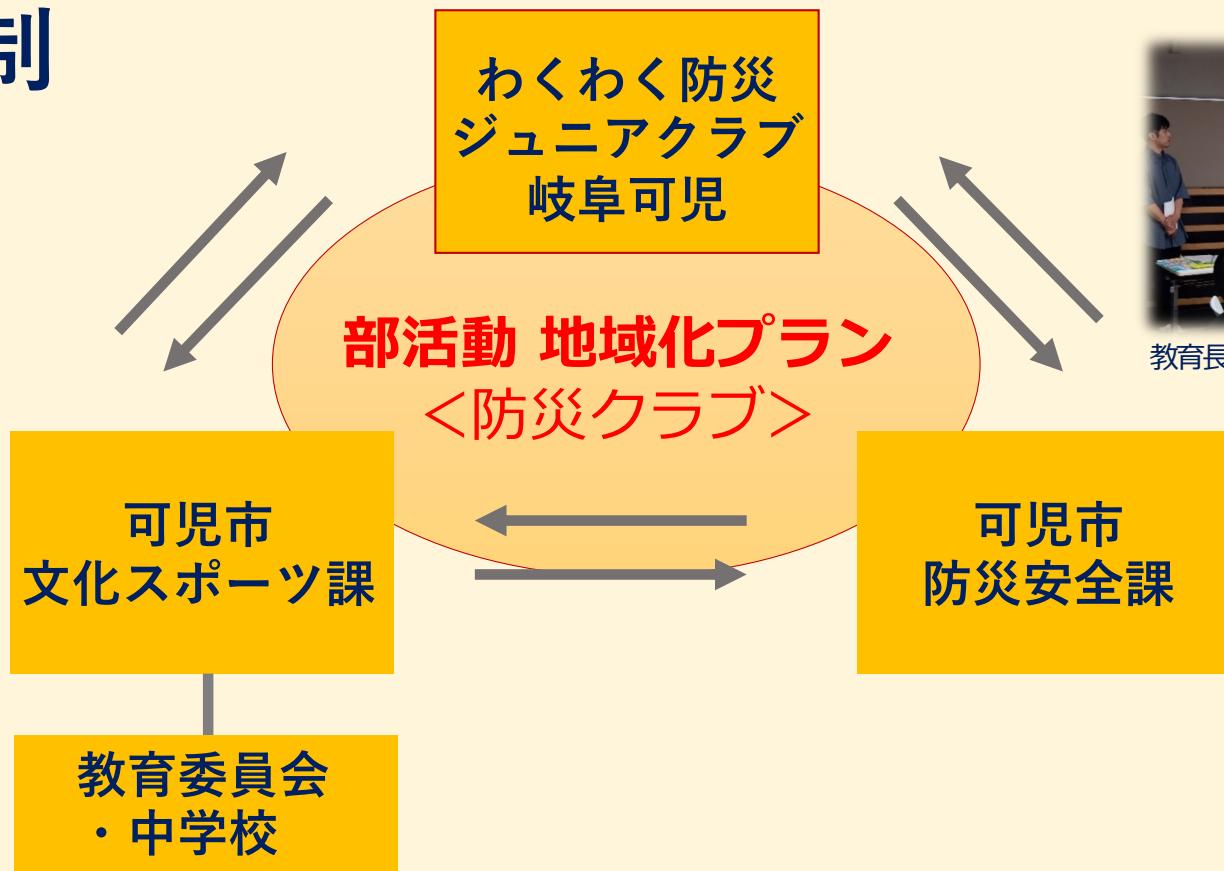
会員募集チラシ



2-1 設立・発足

支援体制

※防災教育チャレンジプラン
・活動内容、資金



教育長、激励メッセージを聴く中学生

防災安全課

- ・講師
- ・活動内容
- ・物資
- ・地区センター備蓄品準備



2-2 活動

- ①発足・地区センター災害の備え
- ②市備蓄品、非常食・ランタンづくり
- ③防災キャンプ in 可児市 小学生支援
- ④ 7.15豪雨災害現場フィールドワーク



7・8月
備え・学ぶ

9・10月
活動・体感

11・12月
対話・交流

1・2月
貢献・発信



- ⑤防災アプリ体験・防災士になるために
- ⑥防災ワークショップ 地域の備え・対話
- ⑦被災地写真洗浄・能登地震を学ぶ (予定)

① わくわく防災ジュニアクラブ 発足 7月



発足。対話や協働で初対面中学生、多様な大人と対話し活動。
深め学び合う。防災ゲーム・段ボールベッド・簡易トイレ設営。

② 防災キャンプ in 可児市 9月



小学生向けキャンプ。中学生から小学生へ指導、多様な大人と接することで学びを深めた。災害時を想定、炊き出しを支援。

③ 7.15豪雨災害フィールドワーク 10月



被害場所、土田市道アンダーパス付近の当時の様子を知る。 
災害地図をもとに歩き、実感を通して地域の過去の災害を学ぶ。

④防災講座ワークショップ 12月



大学講師によるワークショップ。地域、中学生の参加者を募集。
多様な大人と地域を点検し地震へ備えた。対話で学び合う。

2-3 連携・発信

連携

○行政（市・県）
文化スポーツ課 防災安全課
教育委員会 地区センター 市議会議員
清流の国ぎふ防災・減災センター
岐阜大学 熊本学園大学 等

○団体・企業等

可児市防災の会 市民団体Meets
岐阜県げんさい未来塾 可児写真館
帷子防災士の会 NPO可児市国際交流協会
防災教育チャレンジプラン
プラン参加団体【Do It Yourself様】
国民生活産業・消費者団体連合会
株式会社トイ・ファーム

発信

インスタグラム
メール チラシ ポスター
防災講演会 学校だより
県・市防災リーダー育成講座
市NPO団体イベント
市民フリースピーチ（予定）



2-3 連携



行政、諸団体へ相談や協力を依頼。メール、電話で何度もやりとりして調整。実際に参加支援や協力を頂き、連携。

- ①文化スポーツ課、防災安全課様、設立から全面的に支援
- ②教育長様から、会員へ激励のメッセージ動画撮影協力
- ③チャレンジプラン参加、Do It Yourself様 防災アプリ協力
- ④防災教育チャレンジプランの支援・相談 木村委員長様

2-3 発信



①



②



③

多方面へ、多様な方法で配信

- ①可児市防災リーダー育成講座
- ②岐阜県防災リーダー育成講座
- ③市イベント「Meetsフェスタ」
- ④防災講座チラシ 住民へ回覧
- ⑤Instagram 毎回の活動を配信

講義で実践発表
実践発表 防災講座の周知
対話 掲示 館内ラジオ
地元中学校配布 ポスター



④



⑤

3 成果と今後

防災×部活動地域化
→全国市町村モデルプランに！

- 若手防災人材育成に貢献
- 地域の多様な人と顔の見えるつながり
- 設立発足、活動、連携発信に、
新たにチャレンジ
- ◆持続可能で、活動したい取組



3 講座ワークショップ（12月）感想



地域大人

中学生の皆さんと一緒に、危険な所を書き出し大変勉強になりました。今後も防災について一緒に語り合いたいと思いました。私の職業（放課後指導員、見守り隊）にも活かしたいと思い勉強になりました。

中学生

家庭・学校以外で関わった方々と、地域の防災について考えることができて良かったです。今日作った地図をもとに、家族で話し合い、家具転倒防止の自助や地域に働きかける共助を行っていきたい。

議員

大人だけでなく、子ども達と一緒に考えることが大きいと思います。防災を自分事として考えられるようになりました。中学生を交えて話し合いすることで、活性化した思います。継続して参加者が増えていくことを願います。

結びに。

わくわく防災プロジェクトKANI



Instagram

皆様とのご縁に感謝！



わくわく防災ジュニアクラブ岐阜可児 問合せメール : wakubosai.kani2024@gmail.com